

# TPR

## TPR株式会社

証券コード：6463 (東証一部)

## 第87期 報告書

2019.04.01-2020.03.31

# 技術力 (Technology) ・情熱 (Passion) ・信頼 (Reliance)

## を基盤として4本の柱を確立するTPRグループの実現

1の柱 パワトレ商品のダントツNo.1を追求  
3の柱 安全・環境・防災の徹底

2の柱 新規事業の積極展開をスピードアップ  
4の柱 働き甲斐のある職場づくり

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配とご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、現在も体調を崩されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

弊社第87期が終了いたしましたので、概況につきご報告申し上げます。

### 厳しい環境を受け減収減益となりましたが、 将来の成長に繋がる戦略投資を実行しました。

この一年の経営環境につきましては、米中貿易摩擦の激化や自然災害の影響などにより、国内外ともに景気の停滞が見られました。また、年始からの世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済活動が制限され、経営に与える影響が大きくなっております。自動車業界に目を向けますと、販売台数は中国で2年連続前年を下回り、日本、欧米及びインド・東南アジアを含めて全世界でも前年比減少となりました。

このような経営環境のもと、2019年度弊社第87期業績につきましては、売上高は世界的な自動車市場の低迷により前年同期比7.3%減の1,785億円となりました。継続的な原価低減や経費削減などに取組みましたが、操業度の低下や新技術の量産立上げコストを補いきれず、営業利益は139億円（前年同期比24%減）、経常利益は164億円（同24.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は73億円（同36.4%減）といずれも減益となりました。一方で、将来の成長に繋がる革新的な生産合理化や競争力強化のための研究開発・設備投資については戦略的に実行しました。

こうした中、お陰様で弊社は昨年12月に創業80周年を迎えました。株主の皆様への永年にわたるご支援に感謝の意をこめて、配当につきましては、期末配当30円（記念配当2円含む）とし、お支払済みの中間配当30円（同2円含む）と合わせ、年間60円とさせていただきたいと存じます。

### 23中期経営計画を推進していきます。

自動車業界は、100年に一度と言われる大変革の荒波に加え、米中摩擦の激化や新型コロナウイルスの感染拡大に伴う国際社

会の分断と実体経済の深刻な悪化に見舞われております。

弊社は、20中計策定時からの与件の著しい変容に対応して持続可能な成長レベルを再設定するため、本年4月からの4カ年計画として23中期経営計画をスタートすることとしました。前中計に続いて4本柱の実現により企業価値の増大を図るとともに、「受容性のある(Inclusive)、環境に優しい(Ecological)、画期的で(Game-Changing)、持続可能な(Sustainable)」成長を目指して、経営理念に掲げる「クリーンでクオリティの高い地球社会の実現」に貢献してまいります。

初年度となる2020年度は、特に新型コロナウイルス感染拡大による影響を最小限に抑えるべく、テレワークや時差勤務などの働き方改革を進めるとともに、操業の調整や役員報酬削減を始めとする経費の圧縮、万全な手元流動性の確保と戦略的設備投資の推進などに取組んでまいります。

2020年度の配当につきましては、現時点では新型コロナウイルスによる経済影響が見通せないことから未定としておりますが、「毎期の業績、財務基盤、持続的成長のための投資等を勘案しつつ株主様のご期待に応えるよう安定的に行う」という基本方針のもと、連結業績予想の合理的見積もりが可能となった時点で速やかに開示いたします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月26日

代表取締役会長兼CEO  
末廣 博





代表取締役社長兼COO  
岸 雅伸

## 業績の概況

当連結会計年度を取り巻く経営環境は、国内においては、自然災害や消費税増税などが影響して個人消費、設備投資ともに減少いたしました。海外においては、米中貿易摩擦や地政学リスク等により、米国・欧州・アセアン地域の景気が減速に転じ、中国においても景気後退が見られました。また、年度末には、新型コロナウイルスの世界的な拡大により、経済活動が制限され、経営環境に与える影響が大きくなってきております。

当社グループが主として関連する自動車業界においては、国内、米国、インド、アセアン等の新興国は、自動車販売台数が前年比減少に転じ、中国についても2期連続で前年度を下回る厳しい環境でありました。

こうした経営環境のもと、当連結会計年度の売上高は、中国、北米の二大市場の減速等により7.3%減少いたしました。利益面は、継続的な原価低減活動の推進や経費圧縮などを実行いたしました。売上高の減少に伴う操業度減や新技術の量産立上げコストなどにより、営業利益、経常利益とも減少いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益は、海外拠点の留保利益に係る繰延税金負債を計上したことなどにより、更に減少いたしました。

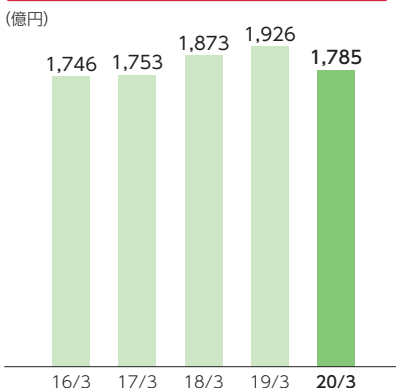
当連結会計年度の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	1,785億30百万円	(前年同期比 7.3%減)
営業利益	139億23百万円	( // 24.0%減)
経常利益	164億00百万円	( // 24.6%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	73億18百万円	( // 36.4%減)

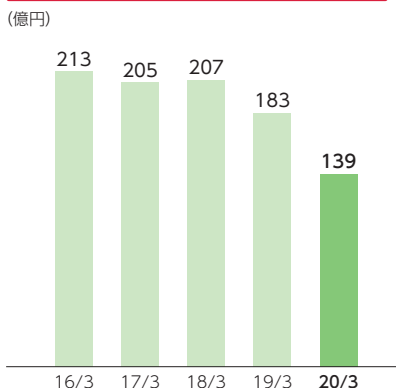
## 2020年3月期連結決算ハイライト

■ 売上高	1,785億30百万円
■ 営業利益	139億23百万円
■ 経常利益	164億00百万円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	73億18百万円

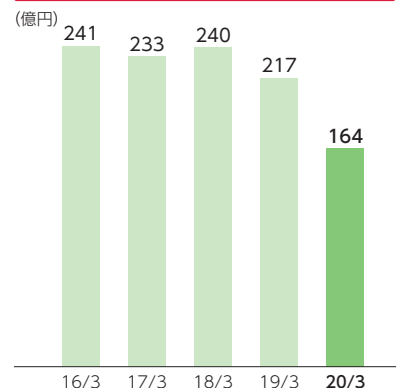
売上高 1,785億円 (前年同期比 7.3%減)



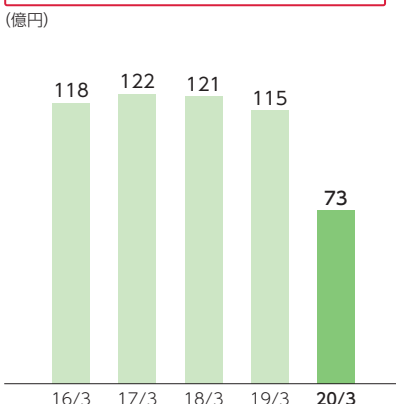
営業利益 139億円 (前年同期比 24.0%減)



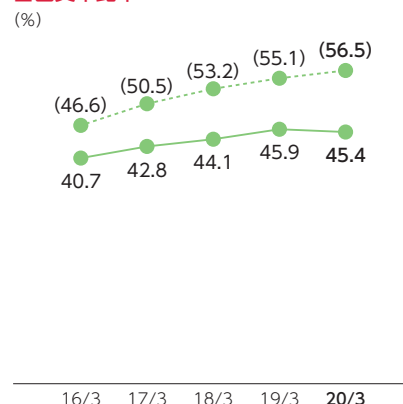
経常利益 164億円 (前年同期比 24.6%減)



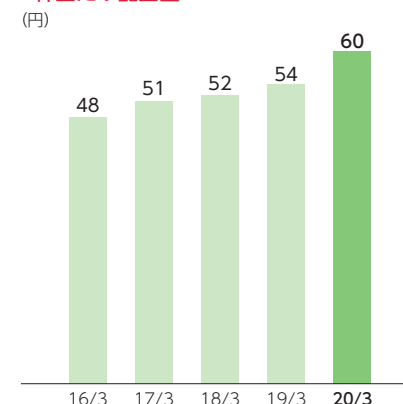
親会社株主に帰属する当期純利益 73億円 (前年同期比 36.4%減)



### 自己資本比率



### 1株当たり配当金



※ ( ) 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	前期 (2019.3.31現在)	当期 (2020.3.31現在)
資産の部		
流動資産	114,600	119,590
固定資産	117,675	120,867
有形固定資産	69,099	73,614
無形固定資産	2,601	2,521
投資その他の資産	45,974	44,731
● 資産合計	<b>232,275</b>	<b>240,458</b>
負債の部		
流動負債	69,184	70,100
固定負債	27,618	31,350
● 負債合計	<b>96,802</b>	<b>101,450</b>
純資産の部		
株主資本	96,261	101,329
その他の包括利益累計額	10,258	7,938
新株予約権	161	147
非支配株主持分	28,791	29,591
純資産合計	<b>135,472</b>	<b>139,007</b>
● 負債・純資産合計	<b>232,275</b>	<b>240,458</b>

## 連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	前期 (2018.4.1～ 2019.3.31)	当期 (2019.4.1～ 2020.3.31)
売上高	192,619	178,530
売上原価	146,415	137,975
売上総利益	46,203	40,555
販売費及び一般管理費	27,894	26,631
営業利益	<b>18,309</b>	<b>13,923</b>
営業外収益	4,341	3,852
営業外費用	885	1,375
経常利益	<b>21,765</b>	<b>16,400</b>
特別利益	119	1,838
特別損失	952	1,912
税金等調整前当期純利益	20,931	16,326
法人税等	4,640	5,233
当期純利益	16,291	11,093
非支配株主に帰属する当期純利益	4,776	3,775
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>11,515</b>	<b>7,318</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	前期 (2018.4.1～ 2019.3.31)	当期 (2019.4.1～ 2020.3.31)
● 営業活動による キャッシュ・フロー	24,824	21,524
● 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 14,315	△ 10,377
● 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 9,819	△ 1,135
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 1,179	△ 497
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 490	9,513
現金及び現金同等物の 期首残高	37,312	37,047
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	225	180
現金及び現金同等物の 期末残高	37,047	46,741

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して96億93百万円増加し、467億41百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、215億24百万円（前年同期比13.3%減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前当期純利益163億26百万円、減価償却費108億85百万円、売上債権の減少額33億51百万円、主な資金の減少は、仕入債務の減少額45億40百万円、法人税等の支払額45億25百万円であります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、103億77百万円（前年同期比27.5%減）となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出145億26百万円、定期預金の払戻による収入46億72百万円であります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、11億35百万円（前年同期比88.4%増）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出82億77百万円、短期借入金の純増額72億円であります。

## 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して81億82百万円増加し、2,404億58百万円となりました。これは主に現金及び預金が79億44百万円、有形固定資産が45億15百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が36億98百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して46億48百万円増加し、1,014億50百万円となりました。これは主に手元流動性を拡大するため短期借入金が52億93百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が26億90百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して35億34百万円増加し、1,390億7百万円となりました。これは主に利益剰余金が50億25百万円増加した一方、為替換算調整勘定が10億60百万円、退職給付に係る調整累計額が10億円それぞれ減少したこと等によるものであります。

# セグメント情報

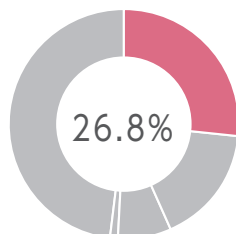
## セグメント業績

(2020年3月期)

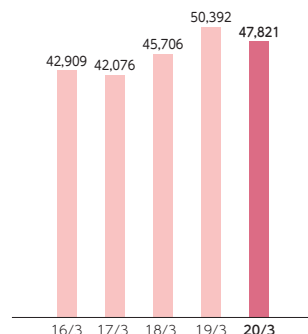
T P R グループ (ファルテックグループを除く)

### 日本

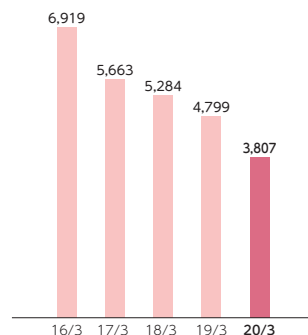
売上高構成比率



売上高  
(百万円)

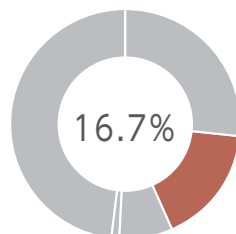


営業利益  
(百万円)

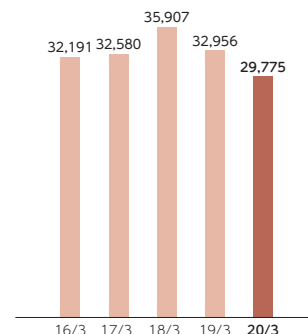


### アジア

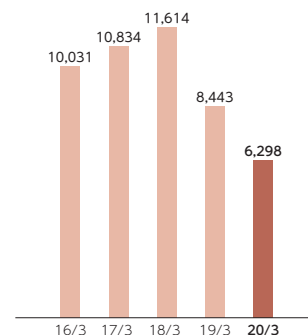
売上高構成比率



売上高  
(百万円)

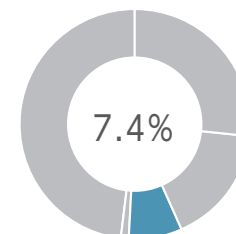


営業利益  
(百万円)

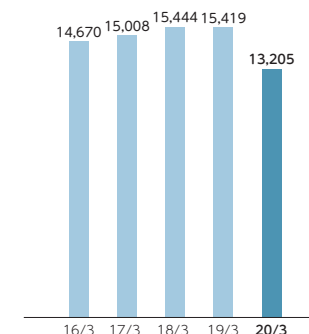


### 北米

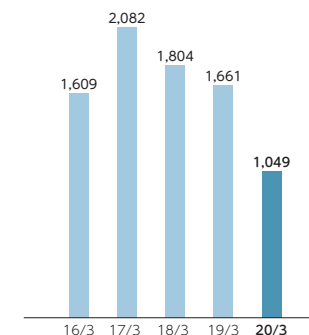
売上高構成比率



売上高  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



日本は、売上高は478億21百万円で、消費増税の影響で自動車販売台数が減少したことなどにより前年同期に比べて25億70百万円の減収となりました。セグメント利益は38億7百万円で、売上高の減少に伴う操業度減や新技術の量産立上げコストなどにより、前年同期に比べて9億92百万円の減益となりました。

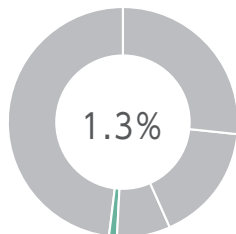
アジア地域は、売上高は297億75百万円で、米中貿易摩擦に伴う中国市場の減速や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて31億81百万円の減収となりました。セグメント利益は62億98百万円で、売上高の減少に伴う操業度減などにより、前年同期に比べて21億44百万円の減益となりました。

北米地域は、売上高は132億5百万円で、乗用車を中心とした自動車販売台数の減少などにより、前年同期に比べて22億13百万円の減収となりました。セグメント利益は10億49百万円で、売上高の減少に伴う操業度減などにより、前年同期に比べて6億11百万円の減益となりました。

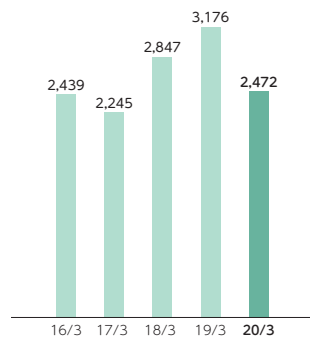
TPRグループ（ファルテックグループを除く）

## その他地域

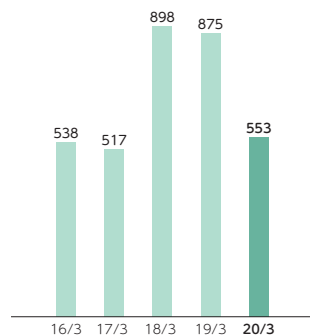
売上高構成比率



売上高  
(百万円)



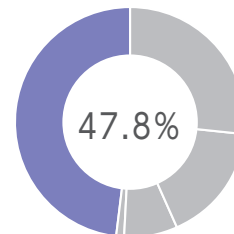
営業利益  
(百万円)



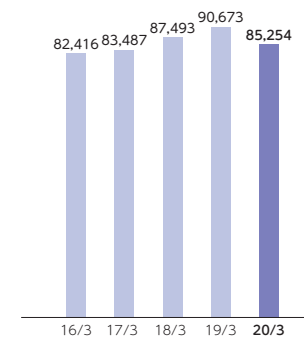
その他地域は、売上高は24億72百万円で、前年同期に比べて7億4百万円の減収となりました。セグメント利益は5億53百万円で、前年同期に比べて3億21百万円の減益となりました。

## ファルテックグループ

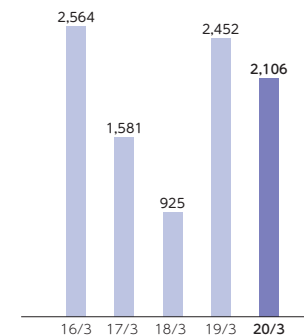
売上高構成比率



売上高  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



売上高は852億54百万円で、グローバルでお客様生産台数減の影響を受けたことにより、前年同期に比べて54億19百万円の減収となりました。セグメント利益は21億6百万円で、海外の売上高減少に伴う利益減や英国子会社の費用増、子会社を新規連結化したことなどにより、前年同期に比べて3億46百万円の減益となりました。

## 23 中期経営計画について

当社は、第32回全社経営会議を開催し、23中計（20年度～2023年度の4ヶ年中期経営計画）をスタートさせました。  
23中計の目指す姿とスローガンは下図の通りです。

### 【23中計 目指す姿】

**技術力**(Technology)・**情熱**(Passion)・**信頼**(Reliance)を基盤として4本の柱を確立するTPRグループの実現

- **1の柱** パワトレ商品のダントツNo.1を追求
- **2の柱** 新規事業の積極展開をスピードアップ
- **3の柱** 安全・環境・防災の徹底
- **4の柱** 働き甲斐のある職場づくり

### 【スローガン】

**Inclusive, Ecological, Game-changing & Sustainable**  
**Innovate & Expand / Globally & Speedily**  
(Let's **IEGS<sup>2</sup>** !)

### 【10の戦略】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>1の柱</b> <b>パワトレ商品のダントツNo.1を追求</b><ul style="list-style-type: none"><li>① 市場をリードするダントツ技術確立</li><li>② 最高品質の追求</li><li>③ 革新的な生産合理化</li><li>④ 最適生産・調達・物流の実現</li><li>⑤ 拡販活動の積極展開</li><li>⑦ 技能・技術移転の推進</li></ul></li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>2の柱</b> <b>新規事業の積極展開をスピードアップ</b><ul style="list-style-type: none"><li>⑤ 拡販活動の積極展開</li><li>⑥ 変革の加速化<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自前主義からの脱却</li><li>・ 新事業開発Grの新設</li><li>・ 多角化商品の選択と集中</li></ul></li><li>⑦ 技能・技術移転の推進</li></ul></li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>3の柱</b> <b>安全・環境・防災の徹底</b><ul style="list-style-type: none"><li>⑧ 企業グループ経営への本格的シフト</li><li>⑨ グループ安全・環境・防災の徹底</li></ul></li></ul>   | <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>4の柱</b> <b>働き甲斐のある職場づくり</b><ul style="list-style-type: none"><li>⑩ 人材育成・働き甲斐ある職場づくり</li></ul></li></ul>   |

企業理念

経営姿勢

行動指針

目指す姿

スローガン

戦略

品質方針

環境方針

安全方針

衛生方針

組織体制



## 2019年12月3日 創立80周年を迎えました。

12月3日の創立記念日には、本社、長野工場、岐阜工場で記念式典が行われ、永年勤続表彰、及び売上や利益に大きく貢献した取り組みに対し送られる特別表彰が行われました。

式典において、末廣会長はあいさつの中で、全社員に向け「100年に一度の大変革の時代」と言われる中で当社は80周年を迎えた訳ですから、今までのやり方だけでは通用しない時代がやってくるという覚悟と危機感を持つことが必要です。」という課題となるメッセージとともに、「当社がこれまでに培った技術力と知見、ものづくりのDNA、グローバルな生産・販売ネットワークなどの強みに更に磨きをかけて、社員一丸となってお客様や社会から高く信頼され評価される会社を作っていくしましょう。」と今後の抱負を発信しました。

80周年という節目を迎えて、社員一丸となり、より一層の発展を目指してまいります。



## 長野工場 サイドレール加工工場 竣工式

2019年10月8日に長野工場にて、サイドレール加工工場竣工式が執り行われました。新工場は屋根・壁に高断熱材を使用し、長野工場で初となるガスヒートポンプでの完全空調を行うことで、作業環境の向上を目指しています。また、近隣への日照や音に配慮し、平屋建てで、防音対策を取っています。また、ワンフロアで検査も一体となり、生産性の向上も考えた造りとなっています。

工事が無事完成したことについて、関係者の協力に感謝するとともに、工事関係者の皆様をねぎらうため、無事竣工式を執り行うことができました。

新工場は、2020年1月6日より操業を開始しております。



# 会社概要・株式の状況 (2020年3月31日現在)

## ■ 会社概要

- 社名 TPR株式会社
- 所在地 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号  
新丸の内センタービル  
TEL: 03-5293-2811  
URL: <https://www.tpr.co.jp>
- 資本金 47億54百万円
- 設立 1939年12月3日
- 従業員 770名

## ■ 役員 (2020年6月26日現在)

### <取締役・監査役>

- 代表取締役 末 廣 博
- 代表取締役 岸 雅 伸
- 代表取締役 富田 健 一
- 取締役 矢野 和 美
- 取締役 唐澤 武 彦
- 取締役 伊井 明 彦
- 取締役 鶴田 六 郎
- 取締役 本家 正 隆
- 取締役 加藤 敏 久
- 常勤監査役 加藤 浩
- 常勤監査役 助川 豊
- 常勤監査役 有賀 義 和
- 監査役 蛭川 欽 也
- 監査役 米川 孝

### <執行役員>

- 会長兼CEO 末 廣 博
- 社長兼COO 岸 雅 伸
- 専務執行役員 矢野 和 美
- 常務執行役員 花岡 繁
- 常務執行役員 羽多野 裕 一
- 常務執行役員 唐澤 武 彦
- 常務執行役員 伊藤 俊 宏
- 常務執行役員 小口 昌 弘
- 常務執行役員 伊井 明 彦
- 常務執行役員 古畑 敦
- 常務執行役員 小林 純 夫
- 常務執行役員 宮坂 佳 介
- 執行役員 北原 正 裕
- 執行役員 茅野 務
- 執行役員 吉江 博 彦
- 執行役員 小野 幸 一
- 執行役員 守屋 弘 明
- 執行役員 花岡 恒 久
- 執行役員 塚本 英 貴
- 執行役員 鮎澤 紀 昭
- 執行役員 塚原 稔
- 執行役員 池畑 慎 二
- 執行役員 羽石 和 弘

## ■ 株式情報

### 株式の状況

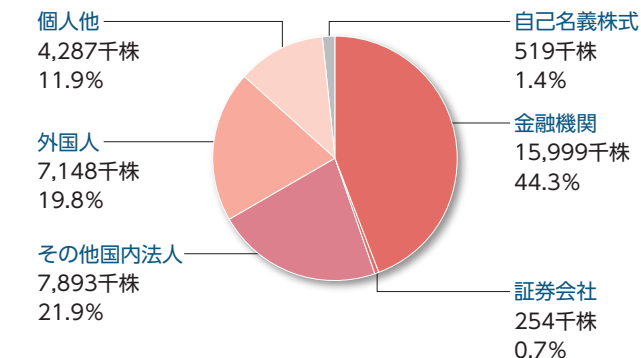
発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式総数	36,100,099 株
議決権を有する株主数	8,239 名

### 大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395	6.73
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,293	6.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	2,002	5.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 信託口	1,852	5.20
株式会社みずほ銀行	1,518	4.26
トヨタ自動車株式会社	1,370	3.85
ヒューリック株式会社	1,231	3.46
東京建物株式会社	933	2.62
TPR取引先持株会	898	2.52
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINS IC OPPORTUNITIES FUND	825	2.31

(注) 1. 出資比率は自己株式(519,757株)を控除して計算しております。(小数点第3位以下切捨て)  
2. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、2020年4月1日付で損害保険ジャパン株式会社に商号変更となりました。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 基準日 毎年3月31日  
開催日 毎年6月中
- 剰余金の配当 期末配当基準日 3月31日  
中間配当基準日 9月30日  
100株
- 単元株式数 電子公告(事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載)  
<https://www.tpr.co.jp>
- 公告方法 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続の取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

■ ホームページアドレス <https://www.tpr.co.jp>

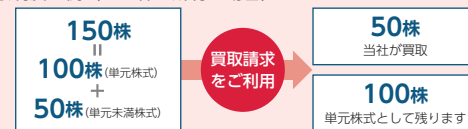
## お知らせ

### 単元未満株式の買取制度について

単元未満株式(100株に満たない当社株式)を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

### ■ 買取制度の例 (150株ご所有の場合)



### 配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

## TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

